

第2次小樽市健康増進計画「第2次健康おたる21」

平成26年度事業評価及び平成27年度事業計画

平成27年10月

小樽市保健所

目 次

1	第2次健康おたる21普及・啓発	3
2	地域連携によるがん検診の普及啓発推進	4
3	地域連携による特定健康診査・特定保健指導の普及啓発推進	5
4	血圧自己測定推進	7
5	ウォーキングの推進	8
6	おいしい空気の施設推進	9
7	禁煙達成者の支援	10
8	ヘルシーメニュー事業	11
9	毎日朝食をとる、家族の誰かと一緒に朝食をとる	12
10	栄養成分表示の店推進	13
11	食事バランスガイド活用の推進	14
12	悩みの相談窓口の周知啓発推進	15
13	効果的な歯磨きの普及	17
14	歯周病セルフチェックの普及	18
15	むし歯のない3歳児を増やす	18
16	思春期の健康教育推進	20
17	麻しんワクチン接種の推進	21
18	チャレンジ！健康クイズ	23
19	前期計画策定シート	26

1 第2次健康おたる21普及・啓発

【平成26年度評価】

施 策	第2次健康おたる21普及啓発活動
事業名	第2次健康おたる21普及啓発活動
内 容	各分野における健康教育及び各種媒体を通じて、随時、普及啓発を実施する。
事業評価 の視点	各分野における健康教育及び各種媒体を通じて、随時、普及啓発を実施する。 方法：健康教育等において計画概要版の配布や計画推進施策について周知啓発する。 到達度：普及啓発数3,000人 対象：これまで普及啓発してこなかった団体等
実績評価	各分野における健康教育等による普及・啓発を行った。 72団体 2,144人 うち新規団体・新規対象 18団体 1,780人 (83.0%) 目標の3,000人には届かなかった。新たな団体への周知は15団体であった。 また、昨年度と同じ団体でも参加対象者が異なる事業があり、新規対象者は今後も一定程度は確保される見込み。
改善点	・ 今後は、計画推進のための小樽市健康づくり推進ネットワーク会議等に諮り、関連団体の協力を得、新規の団体、対象者に周知を拡大できるようにする。 ・ 各サブグループで健康教育をはじめ新規の団体に関わる機会がある場合は周知を積極的に行うとともに、同じ団体でも、受講者が違う場合等周知漏れがないように留意する。

【平成27年度計画】

施 策	第2次健康おたる21普及啓発活動
事業名	第2次健康おたる21普及啓発活動
内 容	1 各分野における健康教育等を活用し、新たな団体等に対して重点的に普及啓発を図る。 2 計画概要版の増刷2,000枚
評価指標	市民や関係者への健康教育等での普及啓発数3,000人
事業評価 の視点	各分野における健康教育及び各種媒体を通じて、随時、普及啓発を実施する。 方法：健康教育等において計画概要版の配布や計画推進施策について周知啓発する。 到達度：普及啓発数3,000人 対象：小樽市健康づくり推進ネットワーク会議の構成団体との協働による普及啓発

2 地域連携によるがん検診の普及啓発推進

【平成 26 年度実績】

施 策	がん・循環器疾患・糖尿病領域
事業名	地域連携によるがん検診普及啓発推進事業
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療機関連携による受診勧奨の方策について検討 2 職域連携による受診率向上 3 各団体との連携 4 健康教育による受診勧奨
事業評価 の視点	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療機関連携による受診勧奨方策の検討 内容：市民の健康情報調査の結果をもとに、医療機関の医師や看護師、薬局の薬剤師との連携について検討する。 目標：具体的な連携方法について検討できる。 2 職域連携による受診率向上 時期：職域での健康セミナー等の開催にあわせて実施 場所：健康セミナー開催会場等 目標：職域との連携のもと、がん検診受診率向上が図られる。 3 各団体との連携について 時期：10月のスポーツフェスティバル開催時 場所：市民団体主催のスポーツフェスティバルによる肺がん検診の実施 目標：スポーツフェスティバル参加者が肺がん検診を受診できる。 受診者数：40人程度 目標：肺がん検診の受診率向上 4 健康教育による受診勧奨 時期：5月、10月の市民団体主催のがん予防普及啓発イベント 場所：市内大型商業施設 目標：市民団体との連携のもと、女性のがん検診を中心に普及啓発を行う。 参加者数：100名 目標：参加者が女性のがん検診について必要性及び受診の方法について理解を深める。
実績評価	<ol style="list-style-type: none"> 1 9月のがん征圧月間において医師会、歯科医師会、薬剤師会の協力を得て、ちらしを配布した。 2 職域連携によるがん検診普及啓発を目的とした健康教育の実施数 1か所8企業 3 10月スポーツフェスティバルにおける肺がん検診実施数 20人 子育て情報誌への記事の掲載 1回 4 健康教育による受診勧奨数 86人

【平成 27 年度計画】

施 策	がん・循環器疾患・糖尿病領域
-----	----------------

事業名	地域連携によるがん検診普及啓発推進事業
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療機関連携によるがん検診の啓発と連携方法の検討 2 職域連携による受診率向上 3 各団体・関係機関との連携 4 健康教育による受診勧奨
評価指標	各がん検診の受診率の向上
事業評価 の視点	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療機関連携によるがん検診の啓発と連携方法の検討 目的：がん検診受診率増加のために医療連携の必要性や方法について検討し、対策につなげる。 到達度：具体的な連携方法について検討できる。 2 職域連携による受診率向上 目的：働く世代のがん予防に取組み、がん検診の必要性を周知し、がん検診受診率を増加させる。 目標：職域との連携により、がん検診受診率が増加する。 3 各団体・関係機関との連携 目的：各団体の主催するイベントに参加することにより、多くの人が集まる場所で周知、検診、健康相談を行い、市民の健康管理の動機づけとする。 目標：スポーツフェスティバル参加者・来場者の40名程度が肺がん検診を受診できる。 4 健康教育による受診勧奨 目的：健康教育により、がん検診の必要性について周知・啓発を行う。 目標：ピンクリボンファミリーイベントでがん検診の普及啓発を行うことができる。(参加数：100人)

3 地域連携による特定健康診査・特定保健指導の普及啓発推進

【平成26年度計画】

施 策	地域連携による特定健診・特定保健指導の普及啓発推進
事業名	地域連携による特定健診・特定保健指導の普及啓発推進事業
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療機関連携における受診勧奨の方法を検討 2 町内会館等でのがん検診との同時実施による受診率向上 3 特定保健指導のプログラムの充実による特定保健指導実施率の向上
事業評価 の視点	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療機関連携における受診勧奨の方法を検討 目的：特定健診受診率増加のために医療連携の必要性や方法について検討し、対策につなげる。 目標：具体的な連携方法について検討できる。 方法：市民の健康情報調査の結果をもとに、医療機関の医師や看護師、調剤薬局の薬剤師との連携について検討する。 2 町内会館等でのがん検診との同時実施による受診率向上

	<p>目的：市民に身近な場所での健診機会を増やし、市民が健診を受けやすい体制を整備する。</p> <p>目標：がん検診と特定健診を同時に受診する市民の増加</p> <p>方法：「地域のけんしん」においてがん検診・特定健診を同時に開催する。</p> <p>3 動機づけ支援プログラムの充実による特定保健指導実施率の向上</p> <p>目的：市民が受けやすいプログラムの内容を検討する。</p> <p>目標：特定保健指導実施率が増加する。</p> <p>方法：動機づけ支援プログラムは、集団支援を終了し、個別のニーズに対応するため、保健師による訪問支援型で実施する。</p>
実績評価	<p>1 未実施</p> <p>特定健診の受診勧奨について、主体的な取組は保険者であり、保健所における計画としては実施が困難であるため、今後は保険者である国保年金課との連携について検討、実施していくこととする。</p> <p>2 「地域のけんしん」として、銭函市民センターで同時実施を行った。</p> <p>受診数：35名</p> <p>3 特定保健指導実施率 11.7%(H27.10末現在終了者分)</p>

【平成27年度計画】

施策	地域連携による特定健診・特定保健指導の普及啓発推進
事業名	地域連携による特定健診・特定保健指導の普及啓発推進事業
事業費	健康診査事業費（特定保健指導、特定健康相談）
内容	<p>1 保険者との連携による特定健診受診勧奨の方策について検討</p> <p>2 町内会館等でのがん検診との同時実施による受診率向上</p> <p>3 動機づけ支援プログラムの充実による特定保健指導実施率の向上</p>
評価指標	特定健診受診率及び特定保健指導利用率の増加
事業評価の視点	<p>1 保険者との連携による特定健診受診勧奨の方策について検討</p> <p>目的：特定健診受診率増加のために保険者と連携し、対策を検討する。</p> <p>目標：国保担当者と相談し、受診率向上の取組を検討する。</p> <p>2 町内会館等でのがん検診との同時実施による受診率向上</p> <p>目的：市民に身近な場所での健診機会を増やし、市民が健診を受けやすい体制を整備する。</p> <p>目標：がん検診と特定健診を同時に受診する市民の増加</p> <p>3 動機づけ支援プログラムの充実による特定保健指導実施率の向上</p> <p>目的：市民が受けやすいプログラムの内容を検討する。</p> <p>目標：特定保健指導実施率が増加する。</p>

4 血圧自己測定推進

【平成 26 年度評価】

施 策	血圧自己測定推進
事業名	血圧自己測定推進事業
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1 市民への健康教育の実施 2 健康相談、健康教育や各種イベント等における啓発リーフレットの配布 3 特定保健指導、特定健康相談で勧奨
事業評価 の視点	<ol style="list-style-type: none"> 1 市民への健康教育の実施 目的：市民が血圧測定の正しい知識を得られ、自身の健康管理について主体的に取り組むことができる。 目標：健康教育及び健康クイズの参加者数が 800 人に増加する。 アンケートにおける自宅での血圧測定者が増加する。 2 健康相談、健康教育や各種イベント等における啓発リーフレットの配布 目的：血圧自己測定の必要性について広く周知啓発することで、体調管理に取り組むきっかけづくりとする。 目標：啓発リーフレットの配布数が 1000 部に増加する。 3 特定保健指導、特定健康相談で勧奨 目的：特定保健指導、特定健康相談対象者が、血圧測定の正しい知識を得られ、自身の健康管理について主体的に取り組むことで、将来の生活習慣病を予防する。 目標：特定保健指導対象者 150 名に勧奨する。 特定健康相談 100 名に勧奨する。
実績評価	<ol style="list-style-type: none"> 1 チャレンジ健康クイズ配布数：766 部 自宅での血圧測定者（健康教育の際に実施したアンケート）：56.4% 2 リーフレット配布数：953 部 3 特定保健指導での勧奨数：積極的支援 84 名 動機づけ支援 81 名

【平成 27 年度計画】

施 策	血圧自己測定推進
事業名	血圧自己測定推進事業
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1 市民への健康教育の実施 2 健康相談、健康教育・各種イベント等における啓発リーフレットの配布
評価指標	市民や関係団体への啓発リーフレットの配布数 1,000 枚
事業評価 の視点	<ol style="list-style-type: none"> 1 市民への健康教育の実施 目的：市民が血圧測定の正しい知識を得られ、自身の健康管理について主体的に取り組むことができる。 目標：健康教育及び健康クイズの参加者数が 800 人になる。 地域保健サブグループの健康教育において実施するアンケートで、自宅で

	<p>血圧を測定している方及びこれから測定すると答える方が増加する。</p> <p>2 健康相談、健康教育、各種イベント等における啓発リーフレットの配布 目的：血圧自己測定の必要性について広く周知啓発することで、体調管理に取り組むきっかけづくりとする。 目標：健康相談、健康教育、各種イベントにおいて血圧自己測定のちらしを配布する。(1,000部) 血圧自己測定のポスターを作成し、自動血圧計を設置している施設に配布、掲示の依頼を行う。</p>
--	---

5 ウォーキングの推進

【平成 26 年度評価】

施 策	ウォーキングの推進
事業名	小樽健康づくりウォーキング推進事業
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1 ウォーキングサポーター養成講座 2 サポーター認定更新研修及びウォーキングサポーターフォローアップ研修 3 市民への健康教育の実施 4 職域連携による普及啓発
事業評価 の視点	<ol style="list-style-type: none"> 1 ウォーキングサポーター養成講座 目的：ウォーキング及びノルディックウォーキングを普及する人材となるウォーキングサポーター（以下、「サポーター」という。）を養成する。 目標：サポーターを 20 名養成する。 2 サポーター認定更新研修及びフォローアップ研修 目的：サポーターの知識及び技能の質を平準化、スキルアップを図る。 目標：サポーターが全員参加することができる。 3 市民への健康教育の実施 目的：ウォーキングに対する正しい知識をもつ市民の増加及び定期的なウォーキング習慣を持つ市民の増加を目指す。 目標：健康教育に参加する市民が増加する。(延べ参加人数 2,100 人) 4 職域連携による普及啓発 目的：働く世代から定期的な運動習慣の必要性について、ウォーキングを通じた普及啓発を図る。 目標：健康教育参加者数が増加する。(職域・ウォーキング関係)
実績評価	<ol style="list-style-type: none"> 1 ウォーキングサポーター養成数 12 人 (延 52 人) 2 認定更新研修及びフォローアップ研修各 1 回実施 参加数：認定更新研修 33 人 (73.3%)、フォローアップ研修 40 人 (75.5%) 3 健康教育実施回数・参加人数 実 13 回 延 165 回 実 346 人 延 2,449 人 4 職域への普及啓発数 3 か所 92 人

【平成 27 年度計画】

施 策	ウォーキングの推進
事業名	小樽健康づくりウォーキング推進事業
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1 ウォーキングサポーター養成講座 2 サポーター認定更新研修及びフォローアップ研修 3 市民への健康教育の実施 4 職域連携による普及啓発
評価指標	ウォーキングサポーター養成数（累計数）81 名
事業評価 の視点	<ol style="list-style-type: none"> 1 ウォーキングサポーター養成講座 目的：ウォーキング及びノルディックウォーキングを普及する人材となるウォーキングサポーター（以下、「サポーター」という。）を養成する。 目標：サポーターを 20 名養成する。 2 サポーター認定更新研修及びフォローアップ研修 目的：サポーターの知識及び技能の質を平準化、スキルアップを図る。 目標：サポーターが全員参加することができる。 3 市民への健康教育の実施 目的：ウォーキングに対する正しい知識をもつ市民の増加及び定期的なウォーキング習慣を持つ市民の増加を目指す。 目標：健康教育に延べ 2,500 人の市民が参加する。 4 職域連携による普及啓発 目的：働く世代から定期的な運動習慣の必要性について、ウォーキングを通じた普及啓発を図る。 目標：健康教育参加者数が増加する。（職域・ウォーキング関係）

6 おいしい空気の施設推進

【平成 26 年度評価】

施 策	受動喫煙防止の推進
事業名	受動喫煙防止推進事業
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1 おいしい空気の施設推進事業 2 受動喫煙防止の環境づくり等の普及啓発
事業評価 の視点	<ol style="list-style-type: none"> 1 おいしい空気の施設推進事業 目的：多数の者が利用する施設の管理者等に対し、禁煙・適切な分煙の措置を講ずるよう促すとともに、禁煙・適切な分煙を実施している施設を公表し、禁煙・分煙の社会的な認識の定着を図り、市民の健康づくりに資することを目的とする。 目標：おいしい空気の施設が 150 か所に増加する。 2 受動喫煙防止の環境づくり等の普及啓発 目的：多数の者が利用する施設において、受動喫煙による健康影響を防止する

	ため、広く市民に対し、受動喫煙防止の重要性を周知する。 目標：ポスターを 600 か所に配布することができる。
実績評価	1 おいしい空気の施設登録総数 105 件 2 ポスター配布か所数 600 か所

【平成 27 年度計画】

施 策	受動喫煙防止の推進
事業名	受動喫煙防止推進事業
内 容	1 おいしい空気の施設推進事業 2 受動喫煙防止の環境づくり等の普及啓発
評価指標	おいしい空気の施設登録数 200 か所
事業評価 の視点	1 おいしい空気の施設推進事業 あらゆる機会を利用し、事業周知を実施する。登録施設をホームページに公開する。(H27 年度は、歯科、官公庁を予定する。) おいしい空気の施設を市民が有効活用できるよう、登録状況をホームページ以外の方法で周知する。 2 受動喫煙防止の環境づくり等の普及啓発 世界禁煙デーにあわせポスターを配布し、FMおたるでの啓発を実施する。

7 禁煙達成者の支援

【平成 26 年度評価】

施 策	禁煙の支援
事業名	禁煙宣言プロジェクト事業
内 容	医療機関と連携し禁煙宣言登録者を増加させる。禁煙登録者の支援を行うとともに、保健所ホームページで公表することにより禁煙の気運を高める。
事業評価 の視点	時期：通年 場所：保健所 連携団体：市内禁煙外来を持つ医療機関、歯科医療機関、及び薬局 関係団体への依頼手順を検討 周知：ポスター、ちらし配布枚数 禁煙宣言登録者数
実績評価	禁煙宣言登録数 新規 7 人（延 17 人）（H26 年度末） ポスター配布（272 枚） ちらし配布（2,190 枚）

【平成 27 年度計画】

施 策	禁煙の支援
事業名	禁煙宣言プロジェクト事業

内 容	【平成 26 年度実施予定計画】 周知：ポスター、ちらし等作成し関連団体等へ配布 ホームページ内容検討 ポスター配布時期：5 月 31 日（世界禁煙デー）の頃
評価指標	禁煙宣言登録者数
事業評価 の視点	時期：通年 対象：市民特に禁煙外来受診者 周知：方法：各団体を通じて配布する 枚数：ちらし配布枚数 禁煙宣言登録者数

8 ヘルシーメニュー事業

【平成 26 年度評価】

施 策	食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む飲食店等の登録件数の増加
事業名	「おたる・ヘルシーメニュー」事業
事業費	栄養改善対策費
内 容	市内飲食店等において 1 食当たり下記のメニューを提供する登録店を増やし、食事療法中の方や、生活習慣病予防に興味のある市民の方においしく、エネルギー等を心配せず安心して食べることのできる環境を整備する。 ・おたる・スーパーヘルシーメニュー：エネルギー600kcal 食塩相当量 3g 以内 ・おたる・ヘルシーメニュー：エネルギー600 kcal 以内 ・おたる・ヘルシースイーツ：エネルギー100 kcal 以内 事業周知：「おたる・ヘルシーメニュー」事業について関係団体等の協力を得て市内飲食店へ広く周知（広報おたる 9 月号特集記事、市ホームページ等）、小樽市食生活展等におけるパネル展示 登録業務：登録希望店からの献立の栄養価計算実施 市民向け登録店の周知：（広報おたる 9 月号にて掲載、市ホームページ、健康教育にてリーフレット配布等） 「ヘルシーメニューシンポジウム」の開催（主催：小樽商科大学 共催：小樽市）
事業評価 の視点	目標：食事療法中の方や、生活習慣病予防に興味のある市民の方においしく、エネルギー等を心配せず安心して食べることのできるお店を増やす。 方法：関連団体等ヘルシーメニュー事業紹介 ヘルシーメニューの紹介：登録店の紹介リーフレット配布 達成度：登録店の増加 ヘルシーメニューの増加や周知により、食事療法中の方はおいしく楽しく食事をする機会が増え、市民は生活習慣病予防を食生活から意識する機会が増える。

実績評価	登録店 4 件（おたる・ヘルシーメニュー 1 件、おたる・スーパーヘルシーメニュー 3 件） 「おたる・ヘルシーメニュー」事業は、平成 25 年度 7 月より開始したため、事業周知、登録店の周知に努めた。
------	---

【平成 27 年度計画】

施策	食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む飲食店等の登録件数の増加
事業名	「おたる・ヘルシーメニュー」事業
事業費	栄養改善対策費
内容	市内飲食店等において 1 食当たり下記のメニューを提供する登録店を増やし、食事療法中の方や、生活習慣病予防に興味のある市民の方においしく、エネルギー等を心配せず安心して食べることのできるお店を増やす。 ・おたる・スーパーヘルシーメニュー：エネルギー 600kcal 食塩相当量 3g 以内 ・おたる・ヘルシーメニュー：エネルギー 600kcal 以内 ・おたる・ヘルシースイーツ：エネルギー 100kcal 以内 事業周知：「おたる・ヘルシーメニュー」事業について関係団体等の協力を得て市内飲食店へ広く周知（市ホームページ等） 小樽市食生活展等におけるパネル展示 登録業務：登録希望店からの献立の栄養価計算実施 市民向け登録店の周知：登録店の周知（市ホームページ、健康教育でリーフレットの配布等）
評価指標	「おたる・ヘルシーメニュー」事業登録店数（合計）15 件
事業評価の視点	目標：食事療法中の方や、生活習慣病予防に興味のある市民の方においしく、エネルギー等を心配せず安心して食べることのできるお店を増やす。 方法：「おたる・ヘルシーメニュー」事業紹介 「おたる・ヘルシーメニュー」の紹介 達成度：登録店の増加

9 毎日朝食をとる、家族の誰かと一緒に朝食をとる

【平成 26 年度評価】

施策	毎日朝食をとる人の増加・家族の誰かと一緒に朝食をとる割合の増加（食育）
事業名	栄養改善事業
内容	1 キッズクッキング 対象：幼児・児童と保護者 方法：講話・調理実習、リーフレットを使用し正しい知識の普及 回数：年 4 回 2 栄養相談 対象：乳幼児健診受診者 カンガルークラブ等の各種栄養改善事業参加者

	<p>方法：リーフレット（食育だより等）を使用し正しい知識の普及 時期：通年</p> <p>3 その他 市内幼稚園・保育施設にリーフレット（食育だより）配布</p>
事業評価 の視点	<p>目標：正しい食習慣をもつ市民の増加 周知方法：正しい食習慣を周知するリーフレットを作成し配布・説明する。 達成目標：毎日朝食をとる人の増加 家族の誰かと一緒に朝食をとる人の増加</p>
実績評価	<p>・正しい食習慣の周知リーフレット配布数：6,000枚 適切な栄養摂取につながる正しい食習慣の知識の普及として、全ての栄養改善事業と市内幼稚園、保育施設、健康増進課へ依頼があった健康教育参加者に対し配布した。</p>

【平成 27 年度計画】

施策	毎日朝食をとる人の増加・家族の誰かと一緒に朝食をとる割合の増加（食育）
事業名	栄養改善事業
内容	<p>1 キッズクッキング 対象：幼児・児童と保護者 方法：講話・調理実習、リーフレットを使用し正しい知識の普及 回数：年 4 回</p> <p>2 栄養相談 対象：乳幼児健診受診者 カンガルークラブ等の各種栄養改善事業参加者 方法：リーフレット（食育だより等）を使用し正しい知識の普及 時期：通年</p>
評価指標	正しい食習慣の周知用リーフレット配布数：6,000枚
事業評価 の視点	<p>目標：正しい食習慣をもつ市民が増加する。 周知方法：正しい食習慣を周知するリーフレットを作成し配布・説明する。 達成目標：毎日朝食をとる人の増加 家族の誰かと一緒に朝食をとる人の増加</p>

10 栄養成分表示の店推進

【平成 26 年度評価】

施策	「栄養成分表示の店」登録件数の増加（食育）
事業名	「栄養成分表示の店」推進事業
内容	<p>食生活は多様化しており、健康を維持するには、家庭の食事だけではなく上手に外食等を利用し食生活全体を管理することが大切である。市民がよりよい食生活を選択でき、健康管理を行うことができるよう、飲食店等のメニューに「栄養成分表示」をしてもらい、外食利用者が適切な栄養情報を得ることができる環境整備を目的に「栄養成分表示の店」の登録推進を行う。</p> <p>① 「栄養成分表示の店」推進事業の周知（市ホームページ等）</p>

	② 登録業務：登録希望店から提出された届出書・栄養算定表・栄養表示例を確認 登録公表（市ホームページ掲載、ステッカー発行）
事業評価 の視点	目標：市民の適切な食生活や良好な健康づくりの環境整備ができる。 達成度：登録店の増加（登録店を市及び北海道ホームページにて紹介）
実績評価	・登録店 57 件

【平成 27 年度計画】

施策	「栄養成分表示の店」登録件数の増加（食育）
事業名	「栄養成分表示の店」推進事業
内容	食生活は多様化しており、健康を維持するには、家庭の食事だけではなく上手に外食等を利用し食生活の全体を管理することが大切になっている。市民がよりよい食生活を選択でき、健康管理を行うことができるよう、飲食店等のメニューに「栄養成分表示」をしてもらい、外食利用者が適切な栄養情報を得ることができる環境整備を目的に「栄養成分表示の店」の登録推進を行う。 ①「栄養成分表示の店」推進事業の周知（市ホームページ等） ②登録業務：登録希望店から提出された届出書・栄養算定表・栄養表示例を確認 登録公表（市ホームページ掲載、ステッカー発行）
評価指標	「栄養成分表示の店」登録件数
事業評価 の視点	目標：市民の適切な食生活や良好な健康づくりの環境整備ができる。 達成度：登録店の増加（登録店を市及び北海道ホームページにて紹介）

1.1 食事バランスガイド活用の推進

【平成 26 年度評価】

施策	食事バランスガイドを参考にしたい割合の増加（食育）
事業名	栄養改善事業
内容	情報提供：①特定給食施設・給食施設の栄養管理担当者研修会（10/14, 3/20） 普及啓発：②小樽市食生活改善推進員養成講座（6/24, 8/29, 10/24） ③キッズクッキング（7/30, 9/9, 12/25, 1/13） ④離乳食講習会（5/29, 7/31, 9/25, 11/27, 1/29, 3/26） ⑤プロから学ぶ食育講座（3/24） ⑥小樽市食生活展（9/11） ⑦健康教育 ⑧栄養相談 * 小樽市食生活展では、来場者を対象に講話を実施（2回）
事業評価 の視点	目標：バランスのよい食事をする市民の増加 方法：食事バランスガイド普及リーフレット配布・説明 達成度：食事バランスガイドを参考にしたい割合の増加 （食事の栄養バランスを意識し、改善しようと取り組む割合の増加）

実績評価	食事バランスガイド普及のリーフレット配布数 3,000 枚
【平成 27 年度計画】	
施策	食事バランスガイドを参考にしたい割合の増加（食育）
事業名	栄養改善事業
内容	<p>情報提供：①特定給食施設・給食施設の栄養管理担当者研修会</p> <p>普及啓発：②小樽市食生活改善推進員養成講座</p> <p>③キッズクッキング</p> <p>④離乳食講習会</p> <p>⑤プロから学ぶ食育講座</p> <p>⑥小樽市食生活展</p> <p>⑦健康教育</p> <p>⑧栄養相談</p>
評価指標	食事バランスガイド普及のリーフレット配布数：3,000 枚
事業評価 の視点	<p>目標：バランスのよい食事をする市民の増加</p> <p>方法：食事バランスガイド普及リーフレット配布・説明</p> <p>達成度：食事バランスガイドを参考にしたい割合の増加 （食事の栄養バランスを意識し、改善しようと取組む割合の増加）</p>

1 2 悩みの相談窓口の周知啓発推進

【平成 26 年度評価】

施策	悩みの相談窓口の周知啓発推進
事業名	「こころの健康相談」周知啓発事業
内容	<p>1 街頭啓発キャンペーンの実施</p> <p>2 相談援助技術専門研修事業の開催</p> <p>3 通常業務における普及啓発活動</p>
事業評価 の視点	<p>1 街頭啓発キャンペーンの実施</p> <p>時期：年 2 回（8 月及び 11 月）</p> <p>目的：市民に「こころの健康相談」事業の周知を図る。</p> <p>場所：長崎屋小樽店内及び都通り商店街周辺</p> <p>内容：相談窓口紹介ちらしを封入したポケットティッシュを市民に配付</p> <p>配付数：2,000 個</p> <p>2 相談援助技術専門研修事業の開催</p> <p>時期：10 月</p> <p>目的：研修事業を通じて「こころの健康相談」事業の周知を図る。（相談技術の向上及び相談機関地域連携体制の拡充も兼ねる。）</p> <p>場所：小樽市医師会館</p> <p>内容：保健、医療、福祉、介護、教育、雇用、民生委員、地域団体等、各分野の相談実務者を対象にした研修会を通じて普及啓発を図る</p>

	<p>参加団体：50 団体</p> <p>3 通常業務における普及啓発活動</p> <p>時期：通年</p> <p>目的：通常業務の様々な機会を捉えて「こころの健康相談」事業の普及を図る。</p> <p>場所：健康教育の際にちらし配付、啓発用ちらしを保健所玄関口に常備等</p> <p>配付数：500 枚</p>
実績評価	<p>1 街頭啓発キャンペーン（年 2 回）の実施</p> <p>啓発ポケットティッシュ（ちらし入り）配布数：2,000 個</p> <p>2 相談援助技術専門研修</p> <p>参加団体：46 団体</p> <p>3 こころの健康相談啓発</p> <p>ちらし配布枚数：1,686 枚</p> <p>内訳：障害者施設、介護保険施設、事業所、一般市民</p>

【平成 27 年度計画】

施策	悩みの相談窓口の周知啓発推進
事業名	「こころの健康相談」周知啓発事業
内容	<p>1 街頭啓発キャンペーン（上半期 1 回・下半期 1 回）の実施</p> <p>2 介護保険施設等（86 か所）へ啓発用ちらしを送付（4 月）</p> <p>3 平成 27 年度 相談援助技術専門研修事業における啓発（年 1 回）</p> <p>4 関係機関（300 か所）へ啓発用ちらしを送付（3 月）</p> <p>5 通常業務における普及啓発活動（随時）</p>
事業評価 の視点	<p>目標：下記の事業をとおして、啓発用ちらしを 2,500 枚以上配布する。</p> <p>1 街頭啓発キャンペーンの実施</p> <p>時期：年 2 回（8 月及び 12 月）</p> <p>目的：市民に「こころの健康相談」事業の周知を図る。</p> <p>場所：長崎屋小樽店内及び都通り商店街周辺</p> <p>内容：相談窓口紹介ちらしを封入したポケットティッシュを市民に配付</p> <p>配付数：2,000 個</p> <p>2 介護保険施設等（86 か所）へ啓発用ちらしを送付</p> <p>時期：4 月</p> <p>目的：介護保険施設等関係機関に「こころの健康相談」事業の周知を図る。</p> <p>内容：相談窓口紹介ちらしと地域自殺対策事業ちらしを併せて送付</p> <p>3 相談援助技術専門研修事業の開催</p> <p>時期：10 月</p> <p>目的：研修事業を通じて「こころの健康相談」事業の周知を図る。（相談技術の向上及び相談機関地域連携体制の拡充も兼ねる。）</p> <p>場所：小樽市医師会館</p> <p>内容：保健、医療、福祉、介護、教育、雇用、民生委員、地域団体等、各分野の相談実務者を対象にした研修会を通じて普及啓発を図る。</p>

	<p>参加団体：50 団体</p> <p>4 関係機関へ啓発用ちらしを送付 時期：3 月 目的：関係機関に「こころの健康相談」事業の周知を図る。 内容：相談窓口紹介ちらしと地域自殺対策事業ちらしを併せて送付 配布機関：300 か所</p> <p>5 通常業務における普及啓発活動 時期：通年 目的：通常業務の様々な機会を捉えて「こころの健康相談」事業の普及を図る。 場所：健康教育の際にちらし配付、啓発用ちらしを保健所玄関口に常備、FM おたる、広報おたるにおける啓発等 配付数：500 枚</p>
--	---

1.3 効果的な歯磨きの普及

【平成 26 年度評価】

施 策	効果的な歯磨きの普及
事業名	効果的な歯磨きの普及事業
内 容	<p>1 効果的歯磨きの情報提供 リーフレット作成し広く配布 関係団体のイベント（むし歯予防デー、いい歯の日）における普及啓発</p> <p>2 歯磨き教室（介護士等を対象とする）</p>
事業評価 の視点	<p>1 歯周病セルフチェックリストと歯磨き情報を 1 枚のリーフレットにして配布 多様な場でリーフレットによる歯磨きや歯間ブラシの情報提供</p> <p>2 歯磨き教室 9 月に実施し、後志地域リハビリテーション広域支援センターへ言語聴覚士の講師依頼</p>
実績評価	<p>1 歯磨きについてのリーフレット（歯周病セルフチェックリストの裏面） 配布 2,644 枚 3 歳児健康診査（474 枚） 健康教育、健康クイズ（686 枚） イベント（84 枚） 職員健診（1,400 枚）</p> <p>2 教室開催（9 月） 参加者 19 名に対し、歯磨き指導</p>

【平成 27 年度計画】

施 策	効果的な歯磨きの普及
事業名	効果的な歯磨きの普及事業
内 容	<p>効果的な歯磨きについて情報提供するために、ちらし等の配布を行う。 リーフレット作成 パワーポイントスライド作成</p>
評価指標	歯磨きリーフレット配布枚数 昨年と対象を変えて配布する。（目標 2,000 枚）

事業評価 の視点	リーフレットの内容、配布対象、配布方法の検討及び、配布枚数の記録
-------------	----------------------------------

14 歯周病セルフチェックの普及

【平成 26 年度評価】

施策	歯周病セルフチェックの普及
事業名	歯周病セルフチェックの普及事業
内容	歯周病セルフチェックリストを配布する。 1 健康クイズの回答に同封 2 市職員健診の案内に同封 3 歯科医師会イベントの際に配布
事業評価 の視点	協力団体との関係を維持する。 セルフチェック内容、対象、配布方法等について検討し、改善 歯周病セルフチェックリスト配布枚数を記録
実績評価	歯周病セルフチェックリスト配布数 2,644 枚 歯周病セルフチェックリストの配布内訳 健康教育や健康クイズ (686 枚) むし歯予防デー等イベント (84 枚) 3 歳児健康診査 (474 枚) 市職員課 (1,400 枚)

【平成 27 年度計画】

施策	歯周病セルフチェックの普及
事業名	歯周病セルフチェックの普及事業
内容	歯周病セルフチェックリストを配布し、市民自ら受診できるようにする。 昨年配布していない幼稚園に配布予定 広報おたるを利用し、歯周病について情報提供を行い、歯周病セルフチェックリストも周知
評価指標	歯周病セルフチェックリスト配布枚数
事業評価 の視点	歯周病セルフチェックリストの配布対象や方法等について、検討し改善 セルフチェックの内容についても検討 歯周病セルフチェックリスト配付枚数を記録

15 むし歯のない3歳児を増やす

【平成 26 年度評価】

施策	むし歯の無い3歳児を増やす (80%以上)
事業名	子供のむし歯予防対策事業
内容	1 3 歳児健康診査までに 3 回以上のフッ化物歯面塗布経験児を現状の 27.4%から 40%以上に増加させるため、あらゆる歯科口腔保健事業 (乳幼児健診、小児歯科相談、所外施設健診、健康教育等) の場で、定期受診の必要性と効果についての

	<p>情報提供を行う。</p> <p>〔方法〕ア. フッ化物歯面塗布利用者へ次回塗布予定月のお知らせを工夫 イ. 塗布回数とむし歯の減少についての情報提供を行う。</p> <p>2 小樽の子供のむし歯の罹患型において、A型（上前歯あるいは奥歯のみのむし歯）が20.2%おり、他都市（22年度札幌市13.4%、旭川市14.1%、函館市15.1% 全国政令市・特別区平均13.2%）に比べて高いため、上の前歯のむし歯予防対策を行う。</p> <p>〔方法〕ア. 1歳6か月児健康診査時にリスク診断を行い、養育者へフロッシグ指導を実施 イ. フロッシグとむし歯の関連性について情報提供を行う。</p>
事業評価の視点	<p>他機関との連携（福祉部子育て支援課・子育て支援団体・児童福祉施設）</p> <p>1、2それぞれの目標値を設定し、経年的に数値評価</p> <p>1の取組</p> <p>ア. 歯科口腔保健事業開設時にフッ化物歯面塗布児の養育者へ次回のお知らせメモを母子健康手帳に添付（実績1,489人） イ. フッ化物とむし歯予防についての情報提供リーフレットを配布（実績2,836枚）</p> <p>2の取組</p> <p>ア. 1歳6か月児健診時にリスク診断によるフロッシグ指導（実績260人） イ. フロッシグについての情報提供リーフレットを配布（実績3,407枚）</p>
実績評価	<p>むし歯のない3歳児を80%以上にする⇒実績値79.3%（調査時69.8%）</p> <p>1 3回以上のフッ化物歯面塗布経験児を40%以上に ⇒実績値40.9%（調査時27.4%）</p> <p>2 上の前歯のみのむし歯（AF型）を7%以下に ⇒実績値11.5%（調査時13.5%）</p>

【平成27年度計画】

施策	むし歯の無い3歳児を増やす（80%以上）
事業名	子供のむし歯予防対策事業
内容	<p>1 3歳児健康診査までに3回以上のフッ化物歯面塗布経験児の割合を40%以上（平成25年度実績40.9%）に維持するため、あらゆる歯科口腔保健事業の場で、定期受診の必要性和効果について、引き続き情報提供を行う。</p> <p>〔方法〕ア. フッ化物歯面塗布利用者への次回予定月のお知らせを工夫 イ. 塗布回数とむし歯の減少についての情報提供リーフレットを配布</p> <p>2 小樽の子供のむし歯の罹患型において、A型（上前歯あるいは奥歯のみのむし歯）が14.1%（平成25年度値）おり、他都市（参考値：24年度札幌市12.5%、旭川市10.4%、函館市16.3% 全国政令市・特別区平均11.8%）に比べて高い罹患率であるため、引き続き、上の前歯のむし歯予防対策を実施する。</p> <p>〔方法〕ア. 1歳6か月児健康診査時に養育者に児へのフロッシグ指導を実施 イ. 口腔ケアについてのリーフレットを配布</p>

評価指標	<p>むし歯のない3歳児を80%以上にする（前年度実績値79.3%）</p> <p>1 3回以上のフッ化物歯面塗布経験児の増加⇒40%以上を維持 （前年度実績40.9%）</p> <p>2 上の前歯のみのむし歯（AF型）⇒7%以下にする （前年度実績11.5%）</p>
事業評価の視点	<p>スタッフの人数⇒職員2名（歯科医師、歯科衛生士）、嘱託3名（歯科衛生士）</p> <p>他機関との連携⇒福祉部子育て支援課・子育て支援団体等・児童福祉施設</p> <p>1、2それぞれ目標値を設定し、経年的に数値評価</p> <p>3歳児健康診査受診時に、アセスメントを実施し、フロス定着者、定着困難者の理由を探り、今後の取組に活用する（今年の10月から1歳6か月児健康診査受診時にフロッシング指導を実施した児の養育者が3歳児健康診査に来所する）</p> <p>1の取組</p> <p>ア. フッ化物歯面塗布利用者への次回予定月のお知らせを工夫 （ア）母子健康手帳へのお知らせメモを添付数 1,500人（見込み） （イ）保育施設児への健診結果票へのお知らせスタンプ押印1,500人（見込み）</p> <p>イ. 塗布回数とむし歯減少についてのリーフレットを配布 2,800枚（見込み）</p> <p>2の取組</p> <p>ア. フロッシング指導数 260人（見込み）</p> <p>イ. 口腔ケアについてのリーフレットを配布 3,400枚（見込み）</p>

16 思春期の健康教育推進

【平成26年度評価】

施策	思春期健康教育の推進
事業名	思春期健康教育事業
内容	<p>1 市内小・中・高等学校に出向き、望まない妊娠、HIVを始めとした性感染症予防、飲酒、喫煙等についての健康教育を実施</p> <p>2 健康教育内容に係るアンケートの実施</p> <p>3 思春期教育の推進について小中校長会にて周知</p>
事業評価の視点	<p>1 実施学校数、参加者数、小中学校との連絡状況</p> <p>2 健康教育内容に係るアンケートの内容</p> <p>3 チャレンジ健康クイズー一般市民の飲酒・喫煙・エイズの知識について設問予定</p>
実績評価	<p>1 実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全実施数 延42校（高校6、中学校10、小学校26） ・性 延26校（高校4、中学校9（中学3年生7）、小学校13） ・たばこ・薬物 延12校（高校1、中学1、小学校10） ・その他 延4校（高校1、小学校3） ・参加人数 3,020人 ・小・中学校の校長会に出向き、エイズ健康教育の目的等について説明（1回） <p>2 アンケート結果</p>

	<p>昨年度に比べ、学校に対するエイズを含む性教育及び全体数は増加している。アンケートは全数実施には至らなかったが、実施した中には、「性教育は命の勉強であることがわかった。」「将来、自分の子どもにも教えていきたい。」等の感想が聞かれた。</p> <p>3 チャレンジ健康クイズにおいて、飲酒・喫煙に関する質問を行った。</p>
--	---

【平成 27 年度計画】

施 策	思春期健康教育の推進
事業名	思春期健康教育事業
内 容	<p>1 市内小・中・高等学校に出向き、望まない妊娠、HIV を始めとした性感染症予防、飲酒、喫煙等についての健康教育を実施</p> <p>2 思春期教育の推進について小中校長会にて周知</p>
評価指標	思春期健康教育 実施学校数の増加
事業評価の視点	実施学校数、参加者数、小中学校との連絡状況

17 麻しんワクチン接種の推進

【平成 26 年度評価】

施 策	麻しんワクチン接種の推進
事業名	麻しんワクチンの接種率向上
内 容	<p>1 対象児への勧奨（啓発、個別案内送付、未接種児への電話勧奨）</p> <p>（1）第 1 期対象者</p> <p>① こんにちは赤ちゃん訪問時接種勧奨（全戸訪問、通年）</p> <p>② 乳児健診・相談時等の接種勧奨</p> <p>③ 未接種児に電話勧奨（1 歳 10 か月時）</p> <p>（2）第 2 期対象者</p> <p>① 幼児健診・相談時接種勧奨（通年）</p> <p>② 対象児に個別通知（勧奨文書及び予診票）（時期：4 月）</p> <p>③ 未接種児に電話勧奨（時期：平成 27 年 2 月）</p> <p>④ 未接種児に個別通知（勧奨文書）（時期：平成 27 年 3 月）</p> <p>2 関係機関を通じて普及啓発（ちらし、ポスターの配布）</p> <p>保育所・幼稚園（時期：7 月）教育委員会（時期：11 月就学時健診）子育て支援課（時期：10 月ちびっこフェスティバル）</p>
事業評価の視点	<p>1 対象児への勧奨</p> <p>目標：保護者が麻しん接種の必要性を理解でき、適切な時期に接種ができる。</p> <p>評価の視点：接種率</p> <p>電話連絡・個別通知の効率化（働きかけ後の接種者の増加状況）</p> <p>麻しん接種の必要性の理解</p> <p>2 関係機関を通じて普及啓発</p>

	<p>目標：多くの機会を通じて麻しん接種の必要性について情報発信ができる。 関係機関に対して麻しん対策の意識づけができる。</p> <p>評価の視点：協力依頼機関 依頼先の妥当性 接種率</p>															
実績評価	<p>1 対象児への勧奨（①～③、⑤～⑦：健康増進課 ④：保健総務課） 接種率：平成 27 年 3 月末現在</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>対象者数</th> <th>接種者数</th> <th>接種率</th> <th>※前年度接種率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第 1 期</td> <td>661 人</td> <td>632 人</td> <td>95.6%</td> <td>87.9%</td> </tr> <tr> <td>第 2 期</td> <td>764 人</td> <td>721 人</td> <td>94.4%</td> <td>94.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>資料配布</p> <p>①ちびっこフェスティバル ②10 か月児健診受診時にちらし・シールを配布 年間 24 回</p> <p>電話連絡・個別通知の効率化（働きかけ後の接種者の増加状況）</p> <p>① 第 1 期 MR ワクチン未接種者への電話勧奨 対象人数 87 人 実施人数 87 人 ・ 87 人中、未接種への該当数 70 人中 31 人が勧奨後に接種済 (H27.3 月末時点)</p> <p>② 第 2 期 MR ワクチン未接種者への電話勧奨（2 月） 対象人数 200 人 実施人数 200 人</p> <p>③ 第 2 期未接種者への接種勧奨のはがき送付（12 月下旬・3 月上旬）</p> <p>麻しん接種の必要性の理解</p> <p>① こんにちは赤ちゃん訪問、その他の母子訪問時勧奨 [第 1 期] ② 乳幼児健診時、未接種児に対し未接種理由の確認、任意接種の情報提供（1 歳 6 か月児健診、3 歳児健診時 年間各健診 24 回実施） [第 1 期] ③ 乳幼児各種相談時勧奨 [第 1・2 期共通]</p> <p>2 関係機関を通じて普及啓発（①：健康増進課 ②：保健総務課）</p> <p>協力依頼機関、ちらし・ポスター配布</p> <p>① 市内保育所、幼稚園 ポスター配布 ちらし配布（第 2 期対象者） ② 予防接種委託医療機関 ポスター配布 ③ 教育委員会～就学時健診時勧奨ちらしの配布を依頼（ちらし配布時期 10 月）</p> <p>依頼先の妥当性</p> <p>保育所・幼稚園へのポスター掲示及び対象者へのちらし配布依頼は、対象者が多く通う施設であり、効果的と考える。また、同様に、就学児健診時も対象者全員への周知が図られ、時期的にも接種可能期間後半に入っており効果的と考える。</p>		対象者数	接種者数	接種率	※前年度接種率	第 1 期	661 人	632 人	95.6%	87.9%	第 2 期	764 人	721 人	94.4%	94.4%
	対象者数	接種者数	接種率	※前年度接種率												
第 1 期	661 人	632 人	95.6%	87.9%												
第 2 期	764 人	721 人	94.4%	94.4%												

【平成 27 年度計画】

施策	麻しんワクチン接種の推進
事業名	麻しんワクチンの接種率向上
内容	1 対象児への勧奨（啓発、個別案内送付、未接種児への電話勧奨、）

	<p>対象：麻しん1期、2期対象児</p> <p>2 関係機関を通じて普及啓発（ちらし、ポスターの配布）</p> <p>対象：保育所・幼稚園、教育委員会、子どもが多く集まる場所（ちびっこフェスティバル等）他</p> <p>・第1期</p> <p>① こんにちは赤ちゃん訪問時接種勧奨（全戸訪問、通年）</p> <p>② 乳児健診・相談時等の接種勧奨</p> <p>③ 未接種児に電話勧奨（1歳10か月時）</p> <p>・第2期</p> <p>① 幼児健診・相談時接種勧奨（1歳6か月健診・総合相談等、通年）</p> <p>② 対象児に個別通知（勧奨文書及び予診票送付）</p> <p>③ 市内保育所・幼稚園、関係機関等にポスター・ちらし配布</p> <p>④ 就学時健診時ちらし配布 健診会場でのポスター掲示</p> <p>⑤ 未接種児に電話勧奨</p> <p>⑥ 未接種児に個別通知（勧奨文書）</p>
評価指標	MR ワクチン第1期・第2期 接種率 95%以上
事業評価の視点	<p>1 対象児への勧奨</p> <p>目標：保護者が麻しん接種の必要性について理解でき、適切な時期に接種ができる。</p> <p>評価の視点：接種率 電話連絡・個別通知の実施数（働きかけ後の接種者の増加状況） 麻しん接種の必要性の理解</p> <p>2 関係機関を通じて普及啓発</p> <p>目標：多くの機会を通じて麻しん接種の必要性について情報発信ができる。 関係機関に対して麻しん対策の意識づけができる。</p> <p>評価の視点：協力依頼機関 依頼先の妥当性 接種率</p>

18 チャレンジ！健康クイズ

【平成26年度評価】

施策	チャレンジ！健康クイズ
事業名	チャレンジ！健康クイズ事業
内容	<p>「チャレンジ！健康クイズ事業」の推進</p> <p>対象：市内在住の満20歳～79歳の市民、男女500人。 （住民基本台帳より無作為抽出）</p> <p>方法：対象者に「チャレンジ！健康クイズ」を送付し、対象者は返信用封筒により返送期間内に回答用紙を返送する。後日、回答用紙のコピー、自己採点用の</p>

	<p>正解（解説付）、健康情報を郵送する。 回答未返送者には、自己採点用の正解（解説付）、健康情報を郵送する。 時期：6月～8月</p>
事業評価 の視点	<p>「チャレンジ！健康クイズ事業」の推進 目的：健康づくりについて、より多くの市民に情報を提供するため「チャレンジ！健康クイズ」を郵送し、クイズに回答しながら楽しく健康づくりについての知識を身につけることを目的に実施する。 到達度：健康情報の提供数</p>
実績評価	<p>スタッフの人数⇒栄養士1名 事業協力団体 小樽食生活改善協議会の推進員11名 健康情報の提供数：488人 健康クイズを通じて、多くの市民に楽しく健康づくりについての知識を伝えることができた。 9月から保健所で実施する健康教育の際に「健康クイズ」の回答用紙、正解（解説付）をセットで配布し、より多くの市民に健康づくりについての情報を伝えた。 期間：9月～27年3月末 健康情報の提供数：766人</p>

【平成27年度計画】

施策	チャレンジ！健康クイズ
事業名	チャレンジ！健康クイズ事業
内容	<p>「チャレンジ！健康クイズ事業」の推進</p> <p>1 市民に直接「チャレンジ！健康クイズ」を郵送 対象：市内在住の満20歳～79歳の男女500人（住民基本台帳より無作為抽出） 方法、時期： 6月：対象者500人に「チャレンジ！健康クイズ」と事業内容の案内文書を郵送。対象者は返信用封筒で返送期間内（郵送日より3週間位）に回答用紙を返送 7月：返送した本人宛てに回答用紙のコピー、自己採点用の正解（解説付）、健康情報提供のリーフレットを郵送 8月：回答未返送者に、自己採点用の正解（解説付）、健康情報提供のリーフレットを郵送 9月：「健康クイズ」郵送分回答結果集約</p> <p>2 市民に健康教育実施時に「チャレンジ！健康クイズ」を配布 対象：健康教育に参加した市民 方法、時期： 9月～保健所で実施する健康教育に参加した市民に「チャレンジ！健康クイズ」の回答用紙、正解（解説付）をセットで配布</p>

評価指標	健康情報の提供数 目標 1,000 人
事業評価 の視点	<p>「チャレンジ！健康クイズ事業」の推進</p> <p>1 市民に直接「チャレンジ！健康クイズ」を郵送 目的：健康づくりについて、より多くの市民に情報を提供するため「チャレンジ！健康クイズ」を郵送し、クイズに回答しながら楽しく健康づくりについての知識を身につけることを目的に実施する。 評価の視点：健康情報の提供数</p> <p>2 市民に健康教育実施時に「チャレンジ！健康クイズ」を配布 目的：健康づくりについて、多くの市民に情報を提供すること目的に保健所で実施する健康教育に参加した市民に「チャレンジ！健康クイズ」の回答用紙、正解（解説付）をセットで配布する。 評価の視点：健康情報の提供数</p>

19 前期計画策定シート(平成25年～29年度)

領域	番号	事業名・取組内容	評価指標 ※複数の場合は行の挿入をお願いします。	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度(中間評価)		
				目標値	実績	達成状況等	目標値	実績	達成状況等	目標値	実績	達成状況等	目標値	実績
(1)がん・循環器疾患・認知症領域	1	地域連携によるがん検診普及啓発推進事業	がん検診受診率の向上	胃がん10% 肺がん10% 大腸がん10% 乳がん20% 子宮頸がん20%	7.3% 10.1% 18.2% 28.5% 34.7%	未達成 達成 達成 達成 達成	胃がん20% 肺がん20% 大腸がん20% 乳がん30% 子宮頸がん30%	7.0% 9.8% 17.9% 27.5% 32.2%	未達成 未達成 未達成 未達成 達成	胃がん40% 肺がん40% 大腸がん40% 乳がん50% 子宮頸がん50%	胃がん40% 肺がん40% 大腸がん40% 乳がん40% 子宮頸がん40%	胃がん40% 肺がん40% 大腸がん40% 乳がん40% 子宮頸がん40%	胃がん40% 肺がん40% 大腸がん40% 乳がん40% 子宮頸がん40%	
	2	地域連携による特定健康診査・特定保健指導の普及啓発事業	特定健康診査受診率及び特定保健指導利用率の向上	特定健康診査20% 特定保健指導20%	13.5% 12.6%	未達成 未達成	特定健康診査30% 特定保健指導30%	14.7% 実施中	未達成 未達成	特定健康診査40% 特定保健指導40%	特定健康診査50% 特定保健指導50%	特定健康診査60% 特定保健指導60%	特定健康診査60% 特定保健指導60%	
	3	血圧自己測定推進事業	市民や関係団体への啓発リーフレットの配布数	1,000人	1,545人	達成	1,000人	465人	未達成	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人	
	4	ウォーキング推進事業 ※事業総額は、サポーター養成100人を達成する 平成28年度とする	ウォーキングがポカ一養成数(累計)	40人	45人	達成	63人	52人	未達成	81人	100人	100人	100人	
	5	おいしい空気の施設推進	市民や関係団体への啓発リーフレットの配布数	100か所	78か所	未達成	150か所	105か所	未達成	200か所	250か所	300か所	300か所	
	6	禁煙宣言プロジェクト	禁煙宣言者数	50人	10人	未達成	50人	7人	未達成	10人	10人	10人	10人	
	7	「おたるヘルシージョーナル」	登録件数	5件	5件	達成	10件	4件	未達成	15件	20件	25件	25件	
	8	「毎日朝食をとる」「家族の誰かと朝食をとる」	市民や関係団体への啓発リーフレットの配布数	6,000枚	6,000枚	達成	6,000枚	6,000枚	達成	6,000枚	6,000枚	6,000枚	6,000枚	
	9	食事がトランス脂肪酸の活用推進	市民や関係団体への啓発リーフレットの配布数	3,000枚	3,000枚	達成	3,000枚	3,000枚	達成	3,000枚	3,000枚	3,000枚	3,000枚	
	10	栄養成分表示の店推進	登録件数	56件	56件	達成	56件	57件	達成	56件	56件	56件	56件	
	(2)精神保健領域	11	悩みの相談窓口の周知啓発の推進	(主指標)相談機関地域連携体制への参加施設数 (副指標)にこころの健康相談)啓発用チラシ配付数	40施設 2,500枚	46施設 2,500枚	達成 達成	50施設 2,500枚	46施設 3,886枚	未達成 達成	55施設 2,500枚	60施設 2,500枚	65施設 2,500枚	65施設 2,500枚
		12	薬しんワクチンの接種率向上に係る取組について	MRワクチン接種率(95%以上)	MR第1期 95%以上 MR第2期 95%以上	87.9% 94.4%	未達成 未達成	MR第1期 95%以上 MR第2期 95%以上	95.6% 94.4%	未達成 未達成	MR第1期 95%以上 MR第2期 95%以上	MR第1期 95%以上 MR第2期 95%以上	MR第1期 95%以上 MR第2期 95%以上	MR第1期 95%以上 MR第2期 95%以上
	(4)口腔保健領域	13	効果的な歯磨きの指導	リーフレット配布枚数	1,000枚	2,000枚	達成	2,000枚	2644枚	達成	3,000枚	2,000枚	2,000枚	2,000枚
		14	歯周病セルフチェック事業	セルフチェック配布枚数	4,000枚	4,500枚	達成	2,000枚	2644枚	達成	3,000枚	2,000枚	2,000枚	2,000枚
	(5)次世代の健康づくり	15	子供のむし歯予防対策事業	むし歯の無い児童を増やす(80%以上)	80%	79.3%	未達成	80%	79.0%	未達成	80%	80%	80%	80%
		16	思春期の健康教育推進	思春期健康教育実施学校数	32校	32校	達成	増加	42校	達成	増加	増加	増加	増加
	(6)第2次健康おたる21普及啓発活動	17	第2次健康おたる21普及啓発活動	市民や関係者への健康啓発等での普及啓発数	3,000人	3,034人	達成	3,000人	2,144人	未達成	3,000人	3,000人	3,000人	3,000人
		18	チャレンジ健康クイズ事業	市民への健康情報提供数	500人	487人	未達成	500人	1,254人	未達成	1,000人	500人	500人	500人